

切り取ってご利用ください

年始特別開館くた・の・し・い・お・正・月

美術館は、正月3が日(1月1日～3日)を特別開館します。
この3日間は、新しい年の始まりを祝い、開催中の展覧会「selection 2011 巻 小杉放菴と木村荘八」を無料でご覧になることができます。
また、エントランスホールでは、双六や福笑いをはじめ、かるた、百人一首、独楽まわし、だるま落とし、けん玉、羽根突き、凧あげといった日本の伝統的な正月遊びの無料体験や、お楽しみ福引を行いますので、ご家族そろって、ぜひご来館ください。



木村荘八「東京繁昌記 師走風俗帖」
1955(昭和30)年
小杉放菴記念日光美術館所蔵

◆展覧会「selection 2011 巻 小杉放菴と木村荘八」
会期：12月18日(土)～2月13日(日)
休館日：毎週月曜日(祝日のときは開館し翌日を休館)
年末休館…12月27日(月)～31日(金)
年始休館…1月4日(火)～6日(木)
開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
入館料：一般…700(300)円、大学・高校生…500(200)円、小中学生…無料 ※()内は市民割引券を利用した際の料金です。

KOSUGI HOAN
MUSEUM OF ART,
NIKKO
小杉放菴記念日光美術館

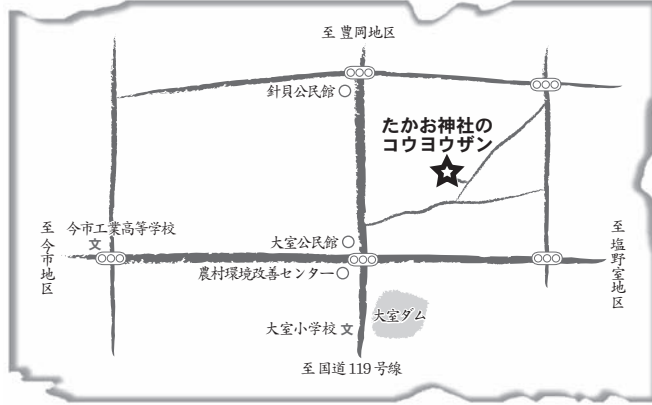
日光市の文化財 ④

たかお神社のコウヨウザン



【種別】天然記念物
【所在】日光市大室
平成16年10月28日旧今市市指定
大室たかお神社の境内には、2本のコウヨウザンが並んでいます。コウヨウザンは中国南部原産のスギ科の常緑針葉樹で、樹高が30mほど、日本には江戸時代に渡来し、リユウキユウスギ、カントンスギといった別名もあります。たかお神社にあるものは、2本とも樹高が約三五m、幹周りが約二・五mある巨木で、良好な樹勢を保っています。神社に残る植樹記念碑によると、明治八年にスギとヒノキを神社周辺に植えた記録が残っており、それらの樹木との比較から、2本のコウヨウザンも同時期に植えられたものとして、推定樹齢が約一三〇年と考えられます。

コウヨウザンは本来暖地性ですが、たかお神社のものは冷涼な気候の日光市で非常に良好な生育を見せているという点で貴重な文化財といえます。



歴史民俗資料館通信

日光市中央町29-1(今市図書館隣) ☎0282-6217
開館時間 午前9時～午後6時(入館無料)
休館日 毎週月曜日、祝日

移動博物館紹介

「岩石・鉱物の世界」地面の下の宝宝箱」
1月8日から栃木県立博物館の資料を展示する移動博物館「岩石・鉱物の世界」地面の下の宝宝箱」を開催します。今回の展示ではテーマを3つ用意しました。
1つ目は、国内外の鉱山より産出した鉱物標本の展示です。鉱物は、温度・圧力・化学成分など複雑な条件の組み合わせで形成され、形成された場所の状態を反映しています。その美しい色や形は、見る人を飽きさせません。
2つ目は、火山灰をテーマにしたコーナーです。市内には男体山をはじめとする日光火山群があり、これらは噴火のたびに火山灰を放出しました。火山灰は地層の中に噴火の記録として残り、これらを解析することで噴火の歴史をたどることが出来ます。
3つ目は、栃木県の岩石のコーナーです。県内に見られる岩石は、



紫水晶と方解石

一つ一つが日本列島の生い立ちに関わっています。古生代から現在に至るまでの代表的な岩石を展示し、それらが形成された時代や背景について解説します。
各コーナーでは、日光市に深く関わる標本も数多く展示されますので、皆さんぜひご覧ください。
◆催し◆
移動博物館
「岩石・鉱物の世界」
1月8日(土)～3月20日(日)
◆移動講座「栃木の岩石から見る日本列島の生い立ち」
1月29日(土)午後1時30分から
※詳細は、情報ナビ(23ページ)をご覧ください。

市民文芸

川柳 選者 山本都留米

そば打ちも待たされて増す空腹感 植田義雄
初詣で佛にすがり破魔矢買う 酒井喜磨
見た目より味と言われて買うリング 白土武夫
賞味切れ食べてこつそり正露丸 渡辺春男
古希の春肩の荷おろし初笑い 倉沢美江子
新年を祝い雑煮の湯気を吹く 櫻沢あき子
疎遠ヲ謝賀状は温い手書き文 篠原芳子

俳句 選者 伊藤 清

神はみな出雲に集う神無月 福田美代子
那須岳に雲立ち込む冬近し 渡辺ミチ子
かすかなる風にも応ふ木の葉かな 星 陽子
鈴生りの袖に射してる入り日かな 池田三夫
独り居につる愁思や夜半の雨 徳本英子
男体に瑞雲なびく小六月 名古屋佳月
冬に入る空の機嫌に衣を合わす 鈴木キ又子

短歌 選者 阿久津伸一

秋雨の街の茶房に人を待つ此のひとときの我執やさしき 名古屋佳子
どんよりと重き空気を透き透きくる夕べの鐘と鬼怒の瀬の音 根立郷美
生きることに疲れ覚ゆる日もあれどがんも身の内寄り添い歩む 北崎 君
二年を過ぎてても消えぬ悲しみは淋しきものぞ六十路を越ゆも 村田登美
目つむりて聴くがよろしも秋の夜の正調南部牛追い唄は 白土武夫
菊よりも一足早く咲く花の秋明菊は何を忍ぶや 大森トミ子
故郷に戻りし今は親もなく子育て時代の不幸を詫ぶる 伊藤悦子

作品を募集しています!

川柳・俳句・短歌を募集しています。氏名(ふりがな)、住所、電話番号を明記して、ご応募ください。
応募先及びくわしくは
秘書広報課 広報広聴係
☎(21)5135・FAX(21)5109